

第29回 全国街路事業コンクール応募資料

様式1

ふりがな 応募者名		しずおかし けんせつきょく 静岡市 建設局
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろ しずおかしもじません せいびじぎょう 都市計画道路 静岡下島線整備事業
	ふりがな 事業主体	しずおかし けんせつきょく 静岡市 建設局
	ふりがな 実施都市名	しずおかし 静岡市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		○事業延長:300m ○事業費:1,215百万円(用地補償費約66%) ○幅員:22m ○事業期間:平成15年～平成27年
事業の目的		幹線道路のネットワークを形成し都市交通の円滑化を図るとともに、地震発生時における電柱等の倒壊による交通の遮断を回避し、防災性の向上を図ることを目的としている。
事業効果	事業効果項目	・様式2のとおり(該当項目にチェックを付す)
	事業効果の概要	沿線における大型商業施設などの企業立地を促進 通学路の歩行空間拡大による安全性の向上
	定量的効果 (検証済の場合記入)	昼間非混雑時平均旅行速度の向上 (上り:17.5km/h→19.5km/h 下り:19.5km/h→26.9km/h) ストック効果として、地価(公示価格)が1.38倍も上昇 ストック効果として、沿線の人口が1.08倍に増加
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 ・その他 	地元説明を重ね合意形成を図った 良好な街並み景観の形成(無電柱化) ブロック舗装

事業位置図



事業前写真

平成10年11月撮影



事業後写真

平成28年9月撮影



静岡下島線の整備効果アピール資料

整備効果

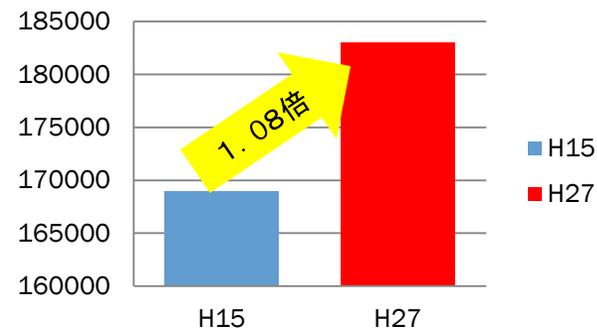
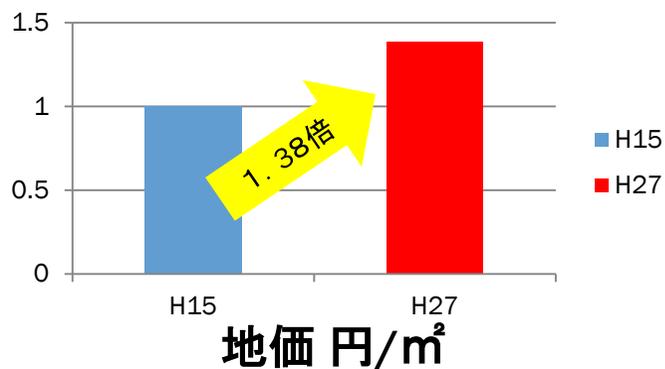
- 区間平均旅行速度が上下線で**最高7km/h向上**
- 無電柱化により3つの整備効果「都市防災の防止」「安全で快適な通行空間の確保」「都市景観の向上」に寄与した。

その他の事業効果

- 沿線における大型商業施設などの企業立地を促進
- 地価(公示価格)が**1.38倍上昇**
- 沿線の人口が**1.08倍増加**
- 立地適正化計画における地域拠点になる予定



人口



事業効果一覧表

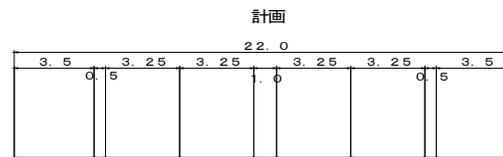
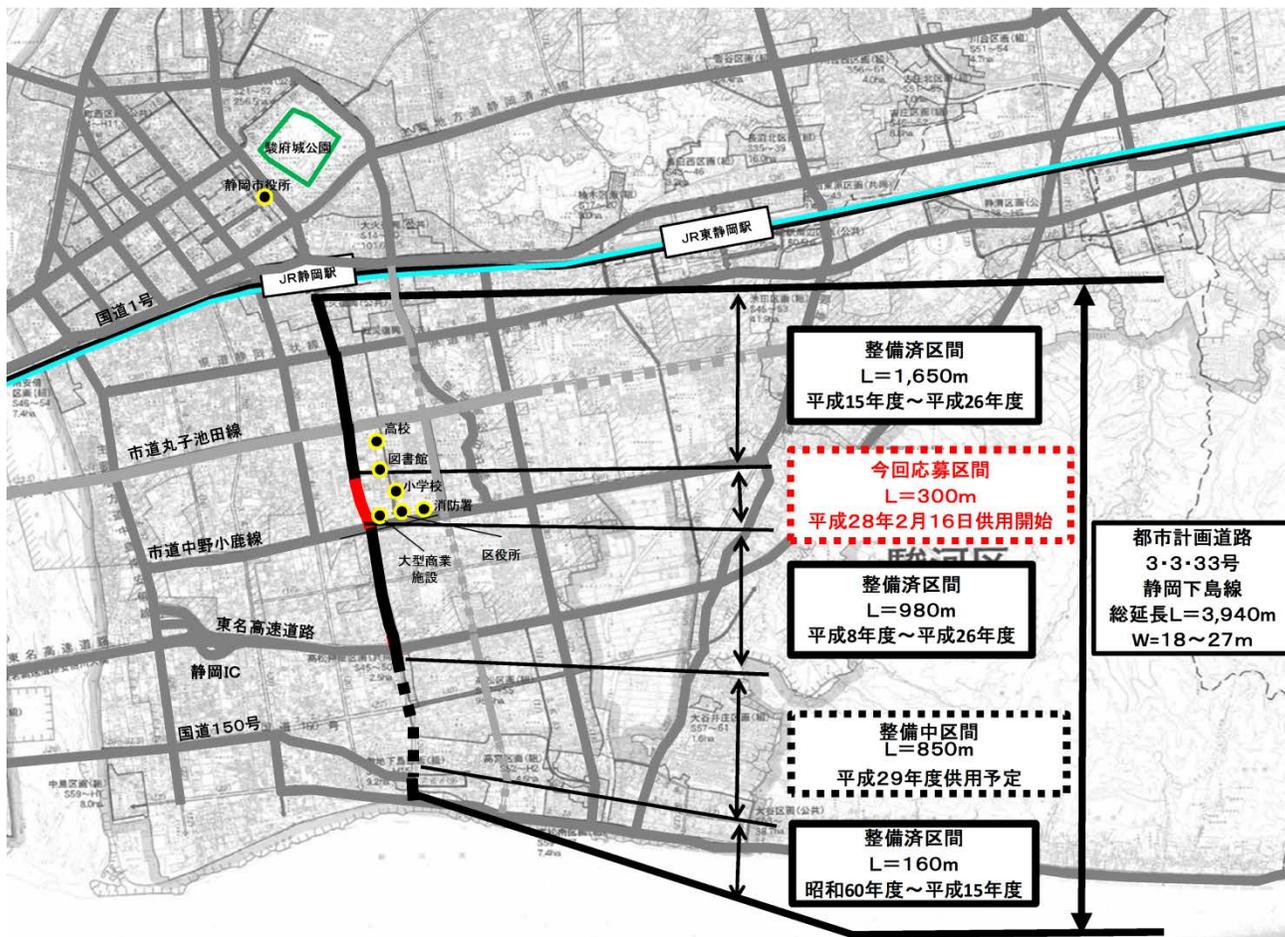
大項目	中項目	小項目	指 標	該当項目
事業 の 効果	円滑な交通	物流を支える	<ul style="list-style-type: none"> ・整備水準の低い地域の改善に寄与した。 ・道路ネットワークの形成に寄与した。 	○
		渋滞のない交通環境を実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞の緩和・解消に寄与した。 	△
		公共交通の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> ・バス、鉄道の利便性向上に寄与した。 	○
	安心・安全な生活	安全な道路交通の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故の防止に寄与した。 	△
		誰もが通りやすい歩行空間の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者・自転車の安全な通行空間の確保に寄与した。 	△
		災害に強い安全な市街地、集落の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における安全性の向上と円滑な避難・救援に寄与した。 	○
	まちづくり・地域活性化	都市（地域）連携を進める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心都市へのアクセス向上やまちづくりに寄与した。 	○
		都心の活力を高める	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化に寄与した。 	△
		地域経済の振興を支援する	<ul style="list-style-type: none"> ・都市（地域）の経済活動の拡大に寄与した。 	◎
	アメニティの向上	沿道環境の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・沿道環境の改善や充実に寄与した。 	△
		うるおいのある道路空間の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の景観に配慮し、良好な道路空間等の創出に寄与した。 	△
		歴史・文化の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史・文化の保全に配慮し、歴史的景観等の創出に寄与した。 	△
	事業実施に伴う効果	コスト縮減等	<ul style="list-style-type: none"> ・工費節減に工夫を凝らし、実績を上げた。 ・事業期間の短縮や環境対策などの社会的コスト縮減を図った。 	△
		事業期間等	<ul style="list-style-type: none"> ・当初の事業期間を短縮し、前倒して供用開始した。 ・短い事業期間で大きな事業効果を発揮した。 	△

※当該事業において、最も事業効果が現れたものから重み付けをしてください。

◎効果大 ○効果中 △効果小

路線全体の進捗状況

都市計画道路 静岡下島線(石田2工区)



都市計画道路
3・3・33号
静岡下島線
総延長L=3,940m
W=18~27m

整備済区間
L=1,650m
平成15年度~平成26年度

今回応募区間
L=300m
平成28年2月16日供用開始

整備済区間
L=980m
平成8年度~平成26年度

整備中区間
L=850m
平成29年度供用予定

整備済区間
L=160m
昭和60年度~平成15年度

凡例	
	今回応募区間
	施行済区間
	既設道路
	東海道新幹線

